説明的文章　接続語の捉え方

　現在、環境問題がさまざまに議論されています。一口に環境問題といっても、地球温暖化・オゾン層の破壊・熱帯林の減少・酸性雨・有機化合物や有毒金属による地球汚染など、多くの問題にわたっており、対策も個々の問題に応じて異なっています。逆に、原因はただ一つです。人間の諸活動が、環境問題を引き起こしているからです。地上に人類が現れて以来、地球環境は汚染され続けてきたと極論を言う人もいます。実際、人類の手で多くの種が絶滅させられました。しかし、人類も自然に生まれてきた生物の一つですから、その活動が環境に影響を与えるのは必然なのかもしれません。

　ただ、人類は生産活動を行うという点で他の生物とは異なった存在であり、自然では作り得ない物質を生産し、その大量消費を行うようになったのも事実です。その結果、人類の活動が地球の環境が許容できる能力と匹敵するほどのレベルに達しており、自然では浄化しきれない人工化合物があふれ、新しい生命体を作る試みすらし始めています。人類は、意識しているかどうかは別として、環境を根本的に変えかねない事態を招いているのです。

　かつては、「環境は無限」と考えられていました。［　　］、環境の容量は人類の活動に比べて圧倒的に大きく、すべてを吸収処理してくれると思ってきたのです。（　　）、廃棄物を平気で海や空に捨て、森林を切り、海や湖を埋立て、ダムを造ってきました。しかし、環境が無限でないことを、さまざまな公害によって学んできました。また、陸にも海にも砂漠化が進み（海にも砂漠化が進み、海藻が枯れています）、自然の生産力が落ち始めています。確かに、このままの消費生活を続けると、地球の許容能力を越え、※カタストロフィーが起こるかもしれません。人類の未来は、環境問題の危機をいかに乗り切るかにかかっていると言っても過言ではないでしょう。

（池内了『科学の考え方・学び方』岩波書店　による）

※カタストロフィー＝悲劇的な結末。破局。

例題

［　　］に当てはまる接続語として、適当なものを選びなさい。

ア　しかし　　**イ**　つまり

ウ　ただし　　**エ**　ところで

〔　　　〕

接続語の読み取り

特に説明的な文章では、接続語に注目すると内容が捉えやすくなる。それぞれの語句がどのような関係を表すのかを理解しておく。

順接	前の内容が、後の内容の原因・理由になる。 （例）だから、そこで、したがって、すると
逆接	前の内容から予想されることと逆の内容が後にくる。 （例）しかし、だが、けれども、ところが
並列 累加	内容を並べる、付け加える。 （例）そして、また、しかも、および、なお
対比 選択	前後の内容を比べる、前後のどちらかを選ぶ。 （例）または、あるいは、それとも、もしくは
説明 補足	内容をまとめたり、理由や情報を補ったりする。 （例）つまり、なぜなら、ただし、たとえば
転換	話題や観点を変える。 （例）ところで、さて、では

確認テスト　本文を読んで、問いに答えなさい。

(1)　（　　）に当てはまる接続語として、適当なものを選びなさい。

ア　だから　**イ**　しかし
ウ　なぜなら　**エ**　ところで

〔　　〕

(2)　本文の内容に合うものを選びなさい。

ア　環境問題はさまざまな種類の問題にわたっているが、その対策としてはただ一つしかない。
イ　人類の生産活動によって生み出された人工化合物の中には、自然では浄化しきれないものがある。
ウ　自然の生産力をもとにもどすことによって、かつてのように環境を無限のものにすることができる。

〔　　〕